

編集後記

平成 21 年度の情報研究所は、前年に引き続き、高田正之（所長）、石田義明、神部順子、ザンピン、玉田和恵、廣田有里で構成され、本籍である情報文化学科の仕事と並行して、基礎教育科目『情報リテラシー』の授業運営など、研究所の業務に従事している。

その情報リテラシーは、後期から始動した基礎・教養教育センターが今後管轄することになり、研究所の重要な任務が平成 22 年度から一つ減る。学習支援システム『エドクラテス』の普及や発展等、教育・研究に関する情報技術上の活動は今後も少なくないので、情報研究所に対しては引き続きご支援をお願いしたい。

そのエドクラテスであるが、平成 17 年度に情報関連の教科目で試験的に導入して以来着実に利用数が増え、前号に「平成 20 年 6 月現在で情報関連 24 コース、語学関連 3 コース、各学科関連 5+1+1+12+16 コース、その他 8 コース、教職員専用 6 コース、計 76 コースが開設されている」と報告されていたのが、平成 21 年 12 月末現在は、情報関連 32 コース、語学関連 14 コース、各学科関連 18+5+14+14+36 コース、その他 14 コース、教職員専用 6 コース、計 153 コースとなっている。現在、情報研究所および学術情報部で、エドクラテス利用をより容易かつ有意義にするための資料作りに努めている。単に利用数が増えるだけでなく、今後ますます教育効果のある利用に役立てていきたい。

本号は諸事情で掲載量の少ない号となってしまったが、次号はまた盛り返したいと考えている。本学教員にあつては、エドクラテス活用、教育・研究へのコンピュータ利用、システム開発、情報関連の行動分析など、**Informatio** にふさわしい内容で、執筆面でもご協力いただければ幸いである。（高田）